

令和4年度 北海道地区水防技術講習会を開催しました！

近年の全国的に多発する水害に備え、出水時における水防活動が円滑に実施されるよう、水防技術の向上及び伝承を図るため、鶴川・沙流川減災対策協議会の管内における水防団員等を対象に、「北海道地区水防技術講習会」を開催しました。

※鶴川・沙流川減災対策協議会とは

鶴川、沙流川、入鹿別川、厚真川、日高門別川、波恵川、慶能舞川及び厚別川の国・北海道管理区間を対象に、水防法に基づく大規模氾濫減災協議会として、「施設では防ぎ切れない大洪水は発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的に設置しています。



屋内講習では、室蘭開発建設部から「水防施設と水防工法の説明」と、水防専門家による「なわ結びの実習」を実施しました。



水防施設と水防工法の説明



なわ結び実習(水防専門家)



なわ結び実習(受講者)

屋外講習では、室蘭開発建設部から「災害対策用機械の説明」と、水防専門家による「水防工法の実習」を実施しました。



災害対策用機械の説明
排水ポンプ車(左)と照明車(右)



土のう製作実習



木流し工実習

◇開催日時 令和4年7月20日(水) 10:30～15:25

◇開催場所 屋内講習:道の駅 むかわ四季の館 たんぽぽホール

現地講習:鶴川 KP3.2付近 右岸

◇参加 73名(受講者は44名)

むかわ町、厚真町、平取町、胆振東部消防組合、日高西部消防組合、富良野広域連合消防本部、北海道開発局災害時協会



シート張り工実習



積土のう工(杭省略型)実習



月の輪工(杭省略型)実習

主な水防工法を紹介します(※が今回実習した工法です)

木流し工※

木の枝に重り土のうを付けて堤防斜面に取り付けるもので、川の激しい流れにより堤防が削られるのを防ぐための工法です。



シート張り工※

川の激しい流れにより堤防が削られたり、堤防から水が漏れ出すのを防ぐための工法です。



月の輪工

漏水によって堤防斜面から居住地側へ水が噴き出した場合に、漏水口が拡大し堤防が崩れるのを防ぐための工法です。



月の輪工(杭省略型)※

月の輪工に、鋼杭を使わずにブルーシートを活用し、土のうを一体化することで省力化を狙った工法です。



釜段工

漏水した水が居住地側の平場から噴き出した場合に行う工法です。



積土のう工

川の水が堤防からあふれる恐れがある場合に行われる工法で、水防活動の基本となる工法です。



積土のう工(杭省略型)※

積土のう工の土のうを固定する鋼杭の代わりに、ブルーシートで覆うことで強度を保つ工法です。



連続遮水壁による越水防止工

折り畳まれている連続遮水壁を広げて、その枠の中に土のうまたは土砂を投入する工法です。



水防って 重要なんです!

1 大きな堤防が整備されているから、雨が降っても安全ですね～

そんなことはないよ!

最近も日本では水害が発生していて、「堤防などの能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」という意識をもたないダメだよ。

2 例えば平成27年9月関東・東北豪雨。鬼怒川左岸の堤防が決壊して、常総市の約3分の1の面積が浸水してしまったんだ。

たくさんの家が浸水している…

3 また平成30年7月には、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となって、各地で川が氾濫したり土砂災害の被害が起きたんだ。

亡くなった方や行方不明の方が多かったんですね。

4 現在の堤防

堤防の変化

国と自治体は、堤防の強化などの治水施設の整備を進めているけど、その整備には、莫大な費用と長い年月が必要なんだよ。

5 だから水害の発生を警戒したり、土のうなどで水があふれるのを防ぐ「水防」が必要なんだ。

治水整備と水防活動が「車の両輪」となって水害被害の拡大を防ぐんだよ。

水防を行うことで、自分たちの命を守るんですね!

6 そう!

「自らの安全は自らが守り、地域の安全は地域が守る」という気持ちを持ち、住民が中心となって、水防活動を行うことが大事なんだ。

その活動の中心に水防団という防災組織がいるんだよ。

国土交通省

国土交通省では、水防への理解を深めていただくための広報資料を作成し、国土交通省ホームページに掲載しています。

https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/kisotishiki/pdf/suiboudan_manga.pdf

https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/kisotishiki/pdf/suiboudan_boshu_leafret.pdf